福岡県米麦大豆生産改善速報 第３号

令和４年７月２９日
福　　岡　　県
福岡県米麦品質改善協会

普通期水稲の生育概況と対策

１．気象経過［太宰府アメダス］

	7月15日～7月24日（10日間）				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本　年	27.4	32.1	23.6	34	144
前年差(比)	−0.8	−1.5	−0.4	52%	563%
平年差(比)	±0.0	+0.2	−0.4	72%	150%

注）平年は1991～2020年の太宰府アメダスの平均値。

２．農林業総合試験場における生育概況

７月15～24日の平均気温は平年並、降水量は150%と多く、多雨寡照で経過した。7月25日現在において、「夢つくし」の草丈は平年並、茎数が36%多かった。「元気つくし」の草丈は平年より８～17%長く、茎数は平年並～14%少なかった。「ヒノヒカリ」の草丈は平年より14%長く、茎数は農産部では初期生育が旺盛であったため14%多かったが、筑後分場では平年並であった。「実りつくし」では、前７年と比べ、草丈は13%長く、茎数は５%少なかった。また、各品種とも主稈葉数が平年より0.6～0.8葉多く、生育は進んでいる。

３．当面の対策

１）水 管 理　中晩生品種で中干しを実施していないほ場では、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。中干しは、田面に小さい亀裂ができる程度とする。「実りつくし」は倒伏防止のため、強めの中干しを行う。中干し終了後は間断かん水を行い、根の活力維持に努める。

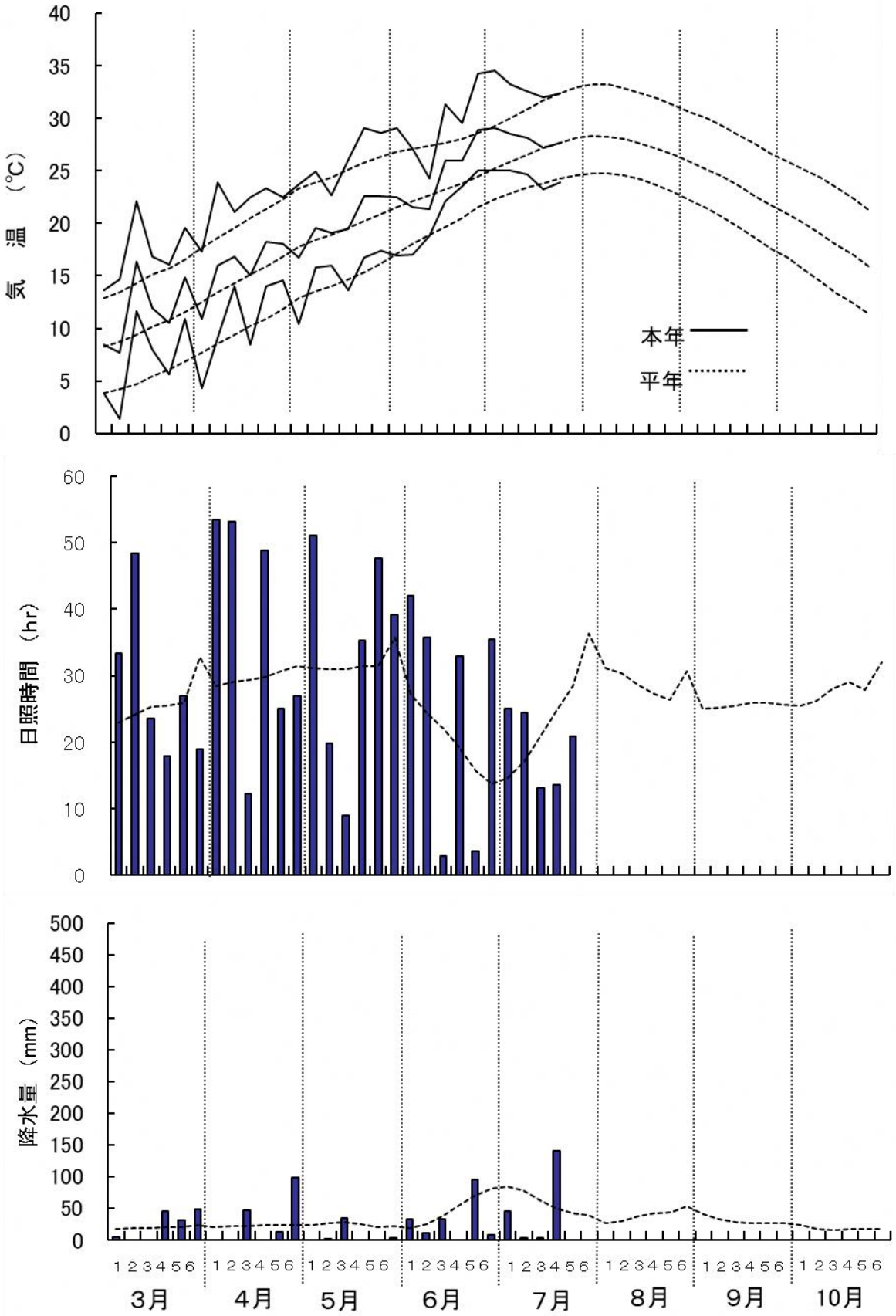
２）施　　肥　出穂期は早いと予想されるため、穂肥は幼穂長や葉色を確認して適期に施用する。

３）病害虫管理　いもち病、ウンカ等の対策は、予察情報を参考に適期に行う。カメムシ対策として、畦畔草刈りは出穂10日前までに実施する。

４．農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	7月15日 草丈 (cm)	7月15日 ㎡当たり茎数 (本)	7月15日 主稈葉数 (L)	7月25日 草丈 (cm)	7月25日 ㎡当たり茎数 (本)	7月25日 主稈葉数 (L)	7月25日 ｶﾗｰｽｹｰﾙ	7月25日 葉緑素計
農産部	6/10	夢つくし	本年	67	597	11.5	76	563	12.4	4.0	40.1
			前年比（差）	97	149	+1.6	105	130	+1.0	+0.5	+6.8
			平年比（差）	105	136	+1.4	103	136	+0.8	+0.8	+1.5
	6/20	元気つくし	本年	53	458	9.7	72	414	11.0	3.6	38.8
			前年比（差）	86	147	+0.2	104	103	−0.1	+0.2	+6.4
			平年比（差）	111	149	+1.3	108	103	+0.6	−0.1	+0.3
		ヒノヒカリ	本年	45	501	9.8	65	515	11.1	3.8	41.0
			前年比（差）	85	152	+0.5	104	117	+0.3	+0.3	+8.1
			平年比（差）	111	158	+1.4	114	114	+0.8	−0.1	+1.9
筑後分場	6/20	元気つくし	本年	52	464	9.7	81	446	11.2	4.3	43.9
			前年比（差）	81	105	+0.1	104	93	−0.1	+0.3	+4.9
			平年比（差）	110	119	+1.3	117	86	+0.6	+0.3	+3.1
		ヒノヒカリ	本年	45	530	9.7	71	576	11.3	4.5	43.7
			前年比（差）	80	102	±0	102	107	+0.2	+0.6	+6.2
			平年比（差）	110	123	+1.3	114	96	+0.8	+0.4	+2.2
		実りつくし	本年	52	515	9.7	77	548	11.4	3.9	41.9
			前年比（差）	86	116	+0.3	106	104	±0	+0.2	+8.4
			前7年比（差）	107	135	+1.4	113	95	+0.6	±0	+2.2

注）①平年値は過去10か年の平均値。
②この値は暫定値で、今後変更することがある。



2022 年（令和４年）夏作期間の気象（太宰府アメダス）